職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	月日	校長	名			所在地						
日本工学院専門	門学校	昭和51年7	月1日	中村 芽	英詞	(住所) 東京	4-8655 京都大田区西蒲日	∄ 5−23−22						
設置者名		設立認可年	月日	代表者	5名	(1000)	-3732-1111	所在地	所在地					
学校法人片柳	学園	昭和25年3	月1日	千葉	茂	(住所) 東京	4-8655 京都大田区西蒲6	∄ 5−23−22						
分野		 認定課程名		認定学科名			-6424-1111 :認定年度	高度専門士認	定年度	専門課程認定年度				
工業	I	業専門課程	А	AIシステム科	ŀ	令和 20	(2020)年度	ı		令和	5(2023)年度			
学科の目的								術を総合的に身に着 する人材の育成を目		CのITエンジニフ	Pを育成し、AIを活用			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	ITパスポー 中途退学	-ト試験、基本情報技 者 6名(5.13%)	術者試験、情	青報検定J検2	級、MOS									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業時 単位数	時数又は総	講義	熋	演習	実習	3	実験	実技			
2	昼間	※単位時間、単位いず かに記入	1,740) 単位時間	1,125 #		120 単位時間	2,520 単位時間		0 単位時間	0 単位時間			
生徒総定員		[編集] (A) 留学:	生数(生徒実員の	単位 の内数)(B)	留学生割合	^{単位} 合(B/A)	単位	単位		単位	単位			
160 人	107		58	3 人	54 %									
	■卒業者 ■対職差	数 (C) 望者数 (D)	:	58 53		Λ								
	■就職者	数 (E)	:	33		<u> </u>								
	■地元就	職者数(F)	-	23)	人								
	■就職率 ■就職者	(E/D) に占める地元就職者	香の割合 (F/E	88 E)	9	%								
				62	9,	%								
	■卒業者	に占める就職者の割	合 (E/C)	88	9,	%								
就職等の状況	■進学者■その他			5	Ź	L.								
	(令和	6 年度卒業	者に関する令	3和7年5月1日	日時点の情報	段)								
		職先、業界等												
	(令和6年度						以合同性十合力	+ #++ <u>~</u>	ルウェマ	世士会せた口	カーマンボーロ			
			胡杂类性士	·스壮 ㅋ · · -	フマテクノロ	心性士令社		1、1本14、元十口3 1 ノン		1水 八 云 仕 ソリ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
		株式会社、日本情	報産業株式	会社、アルフ	ファテクノロ	ジ株式会社。	、JA並偶休式云允		, , _ , ,					
	富士ソフト バー社 ■民間の	株式会社、日本情評価機関等から第	三者評価:	さ会社、アルフ	ファテクノロ	ジ株式会社、	無							
第三者による	富士ソフト バー社 ■民間の	株式会社、日本情	三者評価:	た会社、アルフ	ファテクノロ	lジ株式会社、 	無							
第三者による 学校評価	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合	株式会社、日本情評価機関等から第	三者評価:		ファテクノロ ** ** ** ** ** **	ジ株式会社、	無 新	『価結果を掲載した 「ームページURL						
学校評価	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について	三者評価:			ジ株式会社。	無 新	『価結果を掲載した						
学校評価 当該学科のホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について	三者評価: 任意記載	受		ジ株式会社。	無 新	『価結果を掲載した						
学校評価 当該学科の	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について 評価団体:	三者評価: 任意記載	受		1ジ株式会社	無 新	『価結果を掲載した						
学校評価 当該学科のホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について 評価団体:	三者評価: 任意記載	受		ジ株式会社	無 新	『価結果を掲載した						
学校評価 当該学科のホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep	三者評価: 任意記載	受		ジ株式会社	無 新	『価結果を掲載した		35 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数	三者評価: 任意記載 artment/it/a	受	全審年月:		無 新	『価結果を掲載した	3, 76					
学校評価 当該学科の ホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 任意記載 artment/it/a	受 aisystem/	・実技の授 ³		無 新	『価結果を掲載した	3, 76 24	55 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 任意記載 artment/it/a artment/it/a ま等と連携した を と連携した を と連携した	受 aisystem/ た実験・実習・ た演習の授業的	・ 実技の授 ・ 等数	業時数	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76	55 単位時間 10 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 任意記載 artment/it/a artment/it/a ま等と連携した を と連携した を と連携した	受 aisystem/ た実験・実習・ た演習の授業的	・ 実技の授 ・ 等数	業時数	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24	55 単位時間 10 単位時間 0 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 等と連携した を接案時数 うち企業等	受 aisystem/ た実験・実習・	・ 実技の授 時数 必修の実験	業時数・実習・実技(無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 10 単位時間 0 単位時間 70 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ URL	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第二、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企事 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 等と連携した を接案時数 うち企業等 うち企業等	受 aisystem/ た実験・実習・ た演習の授業的 等と連携した必	・実技の授助・実技の授助・ 支数と修の実験と必修の実際	業時数 ・実習・実技の の授業時数	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 10 単位時間 0 単位時間 70 単位時間 10 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第二、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企事 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 等と連携した を接案時数 うち企業等 うち企業等	受 aisystem/ た演習の授業的 を演習の授業的 等と連携した必	・実技の授助・実技の授助・ 支数と修の実験と必修の実際	業時数 ・実習・実技の の授業時数	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 10 単位時間 0 単位時間 70 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 0 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況へのなる、Bいずれか	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第二、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企事 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 等と連携した を接案時数 うち企業等 うち企業等	受 aisystem/ た演習の授業的 を演習の授業的 等と連携した必	・実技の授助・実技の授助・ 支数と修の実験と必修の実際	業時数 ・実習・実技の の授業時数	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 10 単位時間 0 単位時間 70 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 0 単位時間				
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第二、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企事 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 等と連携した を接案時数 うち企業等 うち企業等	受 aisystem/ た演習の授業的 を演習の授業的 等と連携した必	・実技の授助・実技の授助・ 支数と修の実験と必修の実際	業時数 ・実習・実技の の授業時数	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 10 単位時間 0 単位時間 70 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 0 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携洗した況へのです。	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第二、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企事 うち必有 な数による算定)	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 接等と連携した を授業時数 うち企業等 うち企業等と連携し	受 aisystem/ た演習の授業的 を演習の授業的 等と連携した必	・実技の授助時数 必修の実験 必修の実験 ンシップの担	業時数 ・実習・実技(の授業時数 授業時数)	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 0 単位時間 10 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況へのなる、Bいずれか	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企ま のではよる第定) 総授業時数 うち企ま な数による第定)	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 接等と連携した ラち企業等 うち企業等 と連携した	受 aisystem/ た実験・実習・ た演習の授業 等と連携した必 したインターン	・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習の ンシップの担	業時数 ・実習・実技(の授業時数 授業時数)	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 0 単位時間 10 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況へのスペースの名、Bいずれか	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企ま による算定) 総授業時数 うち企ま の表現による第定) お数による第定)	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 接等と連携した ラち企業等 うち企業等 と連携した	受 aisystem/ た実験・実習・ た演習の授業申 等と連携した必 したインターン た実験・実習・	・実技の授 時数 必修の実験 必修の演習の ンシップの担	業時数 ・実習・実技(の授業時数 授業時数)	無 辞 水	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 0 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携状した況へのなる、Bいずれか	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企ま による算定) 総授業時数 うち企ま の表現による第定) お数による第定)	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 等と連携した を接業時数 うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した を変した を変しまする。	受 aisystem/ た実験・実習・ た演習の授業申 等と連携した必 したインターン た実験・実習・	・実技の授到 ・実技の授到 ・実技の授到 ・といっての担 ・実技の授助 ・実技の授助 ・実技の授助 ・実技の授助	業時数 ・実習・実技(の授業時数 授業時数)	無 が が が が が が が が が が が が が	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 60 単位時間 70 単位時間 70 単位時間 60 単位時間 60 単位時間 60 単位時間 60 単位時間 60 単位時間 60 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携洗した況へのです。	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定) 総授業時数 うち企ま による算定) 総授業時数 うち企ま の表現による第定) お数による第定)	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 接等と連携した を接続した を接続した を表する企業等 では、 を表する企業等と連携した を要した を表する企業等 をと連携した を表する企業等 をを連携した を表する企業等 をと連携した を表する企業等とをを表する。	受 aisystem/ た実験・実習・ た演習の授業時 したインターン た実験・実習・ た演習の授業時	・実技の授到 時数 必修の実験 必修の演習の ンシップの担 ・実技の授到 時数	業 時数 ・実習・実技(の授業 時数) 授業 時数 ・実習・実技(無 が が が が が が が が が が が が が	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等のと連携地した況への表である。	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 接等と連携した うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した を接撃時数 うち企業等 うち企業等	を実験・実習・ た演習の授業 を連携した必 したインターン た実験・実習・ た演習の授業 を実験・実習・ を実験・実習・	・実技の授訓 時数 必修の実験 必修の演習の シップの担 ・実技の授訓 時数	業 時数 ・実習・実技(の)受業 時数) ・実習・実技(の)受業 時数 ・実習・実技(の)受業 時数	無 が が が が が が が が が が が が が	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等のと連携地した況への表である。	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 接等と連携した うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した を接撃時数 うち企業等 うち企業等	を実験・実習・た演習の授業的によると連携した必要をと連携した必要をできまれています。 また 実習の 授業的 できる はいました インターン た実験・実習・た演習の授業的 をきき と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を とき	・実技の授訓 時数 必修の実験 必修の演習の シップの担 ・実技の授訓 時数	業 時数 ・実習・実技(の)受業 時数) ・実習・実技(の)受業 時数 ・実習・実技(の)受業 時数	無 が が が が が が が が が が が が が	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 40 単位時間 40 単位 単位 単位 単位 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携洗した況へのです。	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a 等と連携した 接等と連携した うち企業等 うち企業等と連携した 等と連携した を接撃時数 うち企業等 うち企業等	を実験・実習・た演習の授業的によると連携した必要をと連携した必要をできまれています。 また 実習の 授業的 できる はいました インターン た実験・実習・た演習の授業的 をきき と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を と連携した必要を とき	・実技の授訓 時数 必修の実験 必修の演習の シップの担 ・実技の授訓 時数	業 時数 ・実習・実技(の)受業 時数) ・実習・実技(の)受業 時数 ・実習・実技(の)受業 時数	無 が が が が が が が が が が が が が	『価結果を掲載した	3, 76 24 1, 17 24	55 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 40 単位時間 40 単位 単位 単位 単位 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携洗した況へのです。	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価団体: www.neec.ac.jp/dep 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず	三者評価: 任意記載 artment/it/a と等と連携した と楽等と連携した うちな企連携した ま等と連携した でをを連携した では事務を企業等 をを連携した では事務を企業等 をと連接をををでする。 は事務を企業等 は事務を企業等	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技の 授業時数) ・実習・実技の 受業時数 ・実習・実技の で要素時数 ・実習・実技の で要素時数 ・要素時数)	無 が が が が が が が が が が が が が	で価結果を掲載した ームページURL	3, 76 24 1, 17 24 24	55 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 40 単位時間 40 単位 単位 単位 単位 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等のと連携地した況への表である。	富士ソフト バー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第、例えば以下について 評価関体: www.neec.ac.jp/dep は時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち血 数による第定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち血 での教授 (うち血 での教授 (うち血 での表現と (うち血 での表現と (うち血 での表現と (うち血	三者評価: 任意記載 artment/it/a 非特と連携した ま等とと連携した ま等とと連携した ま等とと連携した ま等とと連携した ま等とと連携した ま等をと連携した ま等をと連携した ま等等と連携した ま等等とを連携した まず等とを表表 まず等当者	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技の ・実習・実数の授業時数) ・実習・実数の授業時数) ・実習・実数の授業時数)	無 が が が が が が が が が が が が が	を価結果を掲載した 一ムページURL	3, 76 24 1, 17 24 24	55 単位時間 60 単位時間 70 単位時間 70 単位時間 60 単位時間 60 単位時間 60 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実際等の実施状況か に記入)	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第で、例えば以下について 評価団体: www.neec.ac.jp/dep 立時間による 算定) 総授業時数 うち企業 うち必析 (うち命 ・ でででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	三者評価: 任意記載 artment/it/a 非勝した を実等と連携した うちを企連携した ま業等と連携した ま業等とと連携した まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技なの授業時数) ・実書・実技なの授業時数 ・実書・実技なの授業時数 ・実書・実技なの授業時数) (専修学校記	無 の授業時数 の授業時数 の授業時数 受置基準第41条第1項	(第1号) (第2号)	3, 76 24 1, 17 24 24	55 単位時間 10 単位時間 70 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位 10 単位 10 単位 10 単位 10 単位 10 単位 10 里位 10				
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入)	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第で、例えば以下について 評価 機関等について 評価 関係 に いい の 第 で の で で で で で で で で で で で で で で で で	三者評価: 任意記載 artment/it/a 非携した を等と連携した を楽等と連携した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技なの授業時数) ・実習・実技なの授業時数) ・実習・実技なの授業時数) (専修学校話(専修学校話(専修学校話)	無 の授業時数 の授業時数 の授業時数 受置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項	原第1号) (第3号)	3, 76 24 1, 177 24 24	55 単位時間 10 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位 単位 単位 単位 単位 単位 10 単位				
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の以上状かかに記入)	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価関係: www.neec.ac.jp/dep は時間による算定) お後授業時数 うち企業 うちかが (うちかが できる	三者評価: 任意記載 artment/it/a 非携した を等と連携した を楽等と連携した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技の の授業時数) 楽時数 ・実習・実技の で表別である。 ・実習・実技の で表別である。 ・実では ・実体の で表別である。 ・実体の で表別では ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の	無 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 と置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項	原価結果を掲載した 一ムページURL	3, 76 24 1, 177 24 24	55 単位時間 40 単位時間 70 単位時間 70 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位位 単位位 単位位 単位位 10 単位 10 里位				
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入)	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第、例えば以下について 評価関係: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定 総授業時数 うち企業 うちな必 (うちな を受けるを限して でででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	三者評価: 任意記載 artment/it/a 非携した を等と連携した を楽等と連携した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技の の授業時数) 楽時数 ・実習・実技の で表別である。 ・実習・実技の で表別である。 ・実では ・実体の で表別である。 ・実体の で表別では ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の	無 の授業時数 の授業時数 の授業時数 受置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項	原価結果を掲載した 一ムページURL	3, 76 24 1, 177 24 24	55 単位時間 10 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位 10 人 2 人 0 人 2 人 1 人 1 人				
学校評価 当該学科のボールの は URL と実等等ののいた。 に記入) を実際には、に記入)	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情評価機関等から第、例えば以下について評価関係: www.neec.ac.jp/dep は時間による算定) お後授業時数 うち企業 うちかが (うちかが できる	三者評価: 任意記載 artment/it/a 建等と連携した き等と連携した うちちと連携した 意業等と連携した 意業等とと連携した 意業等とと連携した うちちと連携した 意業等とと連携した 意業等とと連携した うちちと連携した で変素等とを ままでは、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技の の授業時数) 楽時数 ・実習・実技の で表別である。 ・実習・実技の で表別である。 ・実では ・実体の で表別である。 ・実体の で表別では ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の	無 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 と置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項	原価結果を掲載した 一ムページURL	3, 76 24 1, 177 24 24	55 単位時間 40 単位時間 70 単位時間 70 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位時間 10 単位位 単位位 単位位 単位位 10 単位 10 里位				
学校評価 当該学科のホームの は NRL と実際等等ののいた。 に記入) を実際である。 に記入)	富士ソフト パー社 ■民間の ※有の場合 https://w	株式会社、日本情 評価機関等から第、例えば以下について 評価関係: www.neec.ac.jp/dep な時間による算定 総授業時数 うち企業 うちな必 (うちな を受けるを限して でででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	三者評価: 任意記載 artment/it/a 建等と連携した き等と連携した うちちと連携した 意業等と連携した 意業等とと連携した 意業等とと連携した うちちと連携した 意業等とと連携した 意業等とと連携した うちちと連携した で変素等とを ままでは、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 で変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 を変素を ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで、 ままで	を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ を実験・実習・ をと連携した必 したインターン を実験・実習・ を実験・実習・ とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、 とは、	・実技の授別 ・実技の授別 ・多な修の実験 ・多な修の演習の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業時数 ・実習・実技の の授業時数) 楽時数 ・実習・実技の で表別である。 ・実習・実技の で表別である。 ・実では ・実体の で表別である。 ・実体の で表別では ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の ・実体の	無 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 と置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項 受置基準第41条第1項	原価結果を掲載した 一ムページURL	3, 76 24 1, 177 24 24	55 単位時間 10 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位 10 人 2 人 0 人 2 人 1 人 1 人				

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施。カリキュラム検討メンバーが、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラム(案)を策定し、分科会で検討を進めてカリキュラムに反映させる。また、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。具体的には、IT関連団体との連携や学生就職先企業を中心に業界からの要請を組み入れた教育課程の編

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、教育組織にある、校長が主催する校長会議のもとに設置し、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から2名以上を委員として構成する。本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
木田 徳彦	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 人材委員会副委員長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
寺内 竜太郎	旭情報サービス株式会社 東京支社 事業統括リーダー	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
兼安 勉	アルファテクノロジー株式会社 技術本部 副本部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
兒島 正広	日本工学院専門学校 ITカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
太田 晶	日本工学院専門学校 ITカレッジ AIシステム科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
大塚 勝哉	日本工学院専門学校 教育·学生支援部 課長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9~12月・1~3月)□

(開催日時(実績))

第1回 2025年9月20日 14:00~15:30

第2回 2025年3月19日 14:00~15:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 1. 採用の観点における資格の位置づけ

(委員ご意見)重視するのは人柄であるが、資格の取得や勉強は結果としてメリットはある。好奇心がある学生は成長しやすく、資格保有者は実務の理解も早い。(取引先等によるが)LPIC、CCNA、AWS、Azure等のベンダー系の資格の方がニーズがある。

(改善案)資格がなくても働けるIT業界において、企業が資格の位置づけをどのように考えているか、学生自身も知り理解してもらうことで、資格取得に向けた学習の動機づけを見直す。

2. 採用の観点において重視する資格以外の経験

(委員ご意見)発表が得意・不得意ではなく、オーディエンスを意識して発表する経験を積んでほしい。卒業制作は2年生後期であるため、その経験を採用時点で見られないのはもどかしい(プロジェクトの進捗報告や、遂行経験として)。 (改善案)卒業制作の前段となる取り組みをプロジェクト実習等を通して1年次後期が実践することで、学生が経験を積み、採用試験でも企業に見てもらえるようにする。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

IT分野に関する実践的な実習や演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術 指導などを受けられる企業を選定する。企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定 し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

国家資格等の資格試験や、IT技術・設計に関する授業・実習科目の担当教員と企業(講師)が事前打ち合わせを行い、授業・実習内容、学生の評価指標について定める。実験・実習中は担当教員または講師が評価指標に基づいて中間的な評価も行いながら専門性の高い科目において技術的な指導を行うなど連携しながら授業を運営する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

L	(- /) (11 1 201 - 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	科目名	科 目 概 要	連携企業等
	卒業制作	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを 決め、AI活用をテーマに取り組みます。	ティーエムソル株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

により、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、

科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施するこ

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

教職員向けAI業務活用セミナー 連携企業等: 日本工学院 生成AI研究会 研修名:

期間: 2024年7月25日 対象: AIシステム科教員及び全教員

内容 生成AIの教育現場への活用方法について

②指導力の修得・向上のための研修等

パターンランゲージ活用研修 研修名: 連携企業等:株式会社クリエイティブシフト

期間: 2025年3月18日 対象: ITカレッジ教員

熟練者の実践知を「状況・問題・解決」の構造で言語化し、知識を他者と共有・活用できるようにする手法を 内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: シン教育時代における教育力の向上 連携企業等: NPO法人AI教育推進機構

期間: 2025年8月29日 対象: ITカレッジ教員

① シン教育スタイルについて・サンドボックス構想・FDワークショップ 内容

②教育設計図2026に向けた内容更新と第三者レビュー

②指導力の修得・向上のための研修等

ビジネス現場における生成AI活用の現在 研修名: 連携企業等: 株式会社SHIFT AI

2026年3月開催を計画 対象: ITカレッジ教員 期間:

加速度的に進化する生成AIがビジネスの現場においてどのように活用されているか、また、研修等がどの 内容

ように行われているかについて、最新事情をお伺いし、教員との意見交換を行う。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者 による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分 野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する 知見を生かして 教育日標や教育環境等について評価し その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし 学校全体 (2) 「東修学校における学校評価サイドライン」の項目との対応

(と)・等修子校に8317る子校計画カイドライン」の	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	(1)教育理念·目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献·地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から 以下のご意見を頂いた。

・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。 ・原因の一つとして、フロナ禍にあったここ数年で学生時代に 人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではない (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社	令和7年4月1日	IT企業等委員/
	最高顧問	~令和8年3月31日(1年)	卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス	令和7年4月1日	地域関連/
	専務取締役	~令和8年3月31日(1年)	会計専門委員
壺阪 敏秀	株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報道局長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ企 業等委員
小澤 賢侍	GC ARTS 励云 (公益別凹広八 凹)	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ/ デザイン企業等 委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会	令和7年4月1日	テクノロジー
	事務局長	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
田山 順一	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	令和7年4月1日	ミュージック
	常務理事	~令和8年3月31日(1年)	企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校 進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

URL

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

√ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

https://www.neec.ac.jp/public/ 令和7年9月30日

公表時期:

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が 抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目 (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2) 寺门子校にあける情報提供寺、の城地に	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設·設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

授業科目等の概要

				課程 AIシス	テム科)							T 18 =r T 4/L B				
		分類	Į						授	業プ		場	所	教	員	
	必	選択必	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・	授業時	単位	講	演	実験・実習	校	校	専	兼	との
	修	必修				学期	数	数	義	習	· 実 技	内	外	任	任	連携
1	0			キャリアデザ イン 1	就職するにあたっての心構えや、自分に 合った仕事の見つけ方、実際の就職活動に 必要な事柄を学びます。	1	30	2	0			0		0		
2	0			A I リテラ シー概論	人工知能の発展の歴史や現在の活用事例を 知り、AIシステムで実現可能なことを考え ていきます。	1	30	2	0			0			0	
3		0		データ分析基 礎 選P	データ分析に必要となる基礎的な数学や統 計学を表計算ソフト等を用いて学びます。	1	30	1			0	0			0	
4	0			データベース 基礎	Webシステムおよびデータ分析で用いるデータベースについて、基礎技術からSQLまで学びます。	1	60	2			0	0		0		
5	0				HTMLやCSSなどのWebシステムの開発に必要 な基礎技術を学びます。	1	60	2			0	0			0	
6	0			クラウド技術 基礎	クラウドサービスを利用したサーバーやインフラ環境の構築方法を学びます。	1	60	2			0	0			0	
7	0				AIシステムを構築する上で必須となる各種 プログラミングの基礎を学びます。	1	60	2			0	0		0		
8	0			発想法	発想力とアイデアをカタチにする方法を学 び、デザイン思考を用いたアイデアソンを 実施します。	1	15	1	0			0			0	
9	0			I o T もの作 り実習	センサーやアクチュエーター等の実空間の モノゴトを扱うプログラミングを行いま す。	1	30	1			0	0		0	0	
10	0			情報セキュリ ティ	企業の業務システムやコンピュータシステムを安全に利用するために求められる情報 セキュリティについて学習します。	1	15	1	0			0			0	
11			0	ビジネス基礎	システム戦略や経営戦略、マネジメント手 法などの基礎について学びます。	1	30	2	0			0			0	
12		0		タ・テクノロ	コンピューターの基礎理論、システム開発 技術などテクノロジー分野について学びま す。	1	60	4	0			0			0	

				1	T										
13	0				プログラムでデータを処理する仕組みと多 様なデータの特性を学びます。	1	30	2	0		0			0	
14			0	数学・統計学	AIプログラミングに必要な分野に特化して、高校数学の復習と分散や標準偏差などデータ分析で必要な統計学の基礎を学びます。	1	30	2	0		0			0	
15			0	資格対策講座 1	各種検定資格の対策を行います。	1	30	2	0		0		0	0	
16			0	特別講座 1	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	1	15	1	0		0			0	
17			0	校外研修 1	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	1	30	1		0		0	0		
18	0			キャリアデザ イン2	一般企業の筆記試験対策を行います。特に 一般常識、SPI科目の対策を重点的に行いま す。また面接対策などをしっかり学びま す。	1	30	2	0		0		0		
19	0			AIプログラ ミング実習	AIシステム構築に必要となる機械学習(教師あり学習)をプログラミングにより学びます。	1	60	2		0	0		0	0	
20			0	機械学習基礎	新事例を父えて字ひます。 	1	30	2	0		0			0	
21	0			I o T活用実習	イットワーク経田でハートワエアを制御する簡易的なプログラムを作成します。また、教師データの作成のため、センサーデバイスの使用法を学び、データ収集を行いませ	1	30	1		0	0			0	
22	0			Web開発実 習	JavaScriptを使用した実践的なWebシステム を開発します。	1	60	2		0	0			0	
23	0				Google GCPやAmazon AWSなどのクラウド サービスを利用する方法を学習します。	1	60	2		0	0			0	
24			0		AIを活用したモノゴトづくりをプロデュースするために必要なスキルとして、クリティカルシンキング・ロジカルシンキング・ディベートを学びます。	1	30	2	0		0		0		
25	0			ビジネススキ ル	就職活動に備え、社会人として身につける べき「身だしなみ」「言葉づかい」「挨 拶」「話し方」などのマナーを習得しま す。	1	30	2	0		0		0	0	
26		0		プレゼンテー ション 選P	プレゼンテーションソフト等を用いて、多 くの人に効果的に伝える技術を身につけま す。	1	30	1		0	0		0	0	
27			0	情報系資格対 策講座 1	Python 3 エンジニア認定基礎試験、情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1	60	4	0		0		0	0	

28			0	プロジェクト 実習 1	他学科・地域・企業と連携したRPA活用等による課題解決や各種コンテストへの出場など、プロジェクト単位の活動を通してチームの役割を学びます。	1	60	2		0	0		0	0
29			0	A I 系資格対 策講座 1	G検定、Google GCP認定、Amazon AWS認定などに向けた対策を行います。	1	45	3	0		0			0
30			0	資格対策講座 2	各種検定資格の対策を行います。	1	30	2	0		0		0	0
31			0	特別講座 2	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	1	15	1	0		0		0	0
32			0	校外研修 2	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1	30	1		0		0	0	
33			0	海外研修 1	海外のAI・IoT先進地を視察し、現地の文化に触れることでグローバルな感性を身につけます。	1	30	1		0		0	0	
34		0			一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	1	120	4		0		0	0	0
35		0			一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	1	240	8		0		0	0	0
36			0	スポーツ実習 1	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高 めます。	1	30	1		0		0	0	
37		0		T o k y o P-TECH 特別講座 選P		1	60	4	0		0	0	0	0
38		0		T o k y o P-TECH プロジェクト 実習 選P		1	60	2		0	0	0	0	0
39	0			キャリアデザ イン3	求人票の見方、企業訪問の仕方、履歴書の 添削や集団面接、個人面接の受け方など就 職活動に必要なスキルをしっかり学びま す。	2	30	2	0		0		0	
40	0			A I ・W e b 実習	AIを利用するWebシステムを実装しながら学びます。	2	60	2		0	0			0
41	0			A I ・クラウ ド実習	AIのクラウドサービスを利用するシステム を実装しながら学びます。	2	60	2		0	0			0
42	0			A I ・ I o T 実習	AIを利用するIoTシステムを実装しながら学 びます。	2	60	2		0	0		0	

				アイデアソ												
43			0	ン・ハッカソ ン演習 1	地域や社会の課題を発見し解決するアイデアソンおよびハッカソンを行います。	2	30	2		0		0			0	
44			0	マーケティン グ	市場調査における効果的な情報収集の手段 や収集した情報の分析手法を身につけま す。	2	30	2	0			0			0	
45			0	情報系資格対 策講座 2	Python 3 エンジニア認定基礎試験、情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2	90	6	0			0		0	0	
46			0	プロジェクト 実習 2	他学科・地域・企業と連携したRPA活用等による課題解決や各種コンテストへの出場など、プロジェクト単位の活動を通してチームの役割を学びます。	2	90	3			0	0		0	0	
47			0	A I 系資格対 策講座 2	G検定、Google GCP認定、Amazon AWS認定などに向けた対策を行います。	2	45	3	0			0			0	
48			0	資格対策講座 3	各種検定資格の対策を行います。	2	30	2	0			0		0	0	
49			0	特別講座3	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	2	15	1	0			0		0	0	
50			0	校外研修3	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	2	30	1			0		0	0		
51		0			一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	2	120	4			0		0	0	0	
52		0		インターン シップ4 選 2	一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	2	240	8			0		0	0	0	
53	0			キャリアデザ イン4	就職活動に向けた就職支援を行います。また内定先企業へのお礼状の書き方など学びます。	2	30	2	0			0		0		
54	0			卒業制作	在学中に学習したことを生かしてグループ ごとにテーマを決め、AI活用をテーマに取 り組みます。	2	180	6			0	0		0	0	0
55	0			アジャイル開 発演習	スクラムなどのアジャイル開発手法を体系 的に学びながら卒業制作で実践します。	2	60	4		0		0			0	0
56			0	ア イ デ ア ソ ン・ハッカソ ン演習 2	地域や社会の課題を発見し解決するアイデ アソンおよびハッカソンを行います。	2	30	2		0		0			0	
57			0	A I ビジネス 戦略	企業の実例をケーススタディとして学び、 AIを利用したビジネスモデルを創造しま す。	2	30	2	0			0			0	

58	0			外国語	英会話やIT分野の技術英語などを学びます。	2	30	2	0			0			0	
59			0	情報系資格対 策講座3	Python 3 エンジニア認定基礎試験、情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2	90	6	0			0		0	0	
60			0	プロジェクト 実習3	他学科・地域・企業と連携したRPA活用等による課題解決や各種コンテストへの出場など、プロジェクト単位の活動を通してチームの役割を学びます。	2	90	3			0	0		0	0	
61			0	AI系資格対 策講座3	G検定、Google GCP認定、Amazon AWS認定などに向けた対策を行います。	2	45	3	0			0		0	0	
62			0	資格対策講座 4	各種検定資格の対策を行います。	2	30	2	0			0		0	0	
63			0	特別講座 4	講師を招いた特別講義やフォローアップ講 座などを行います。	2	15	1	0			0		0	0	
64			0	校外研修 4	IT関連の展示会や講習会などに参加して最 新の製品や情報に触れます。	2	30	1			0		0	0		
65			0	海外研修 2	海外のAI・IoT先進地を視察し、現地の文化 に触れることでグローバルな感性を身につ けます。	2	30	1			0		0	0		
66		0			一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	2	120	4			0		0	0	0	
67		0			一定期間企業などの研修生として働き、自 分の将来に関連のある職業体験を行いま す。	2	240	8			0		0	0	0	
68			0	スポーツ実習 2	さまざまなスポーツを体験し、人間力を高 めます。	2	30	1			0		0	0		
合計					68	7	科目			376 16	5時間 7単位	単作	立 (単位	時間	引)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件: 卒業時に必修科目1170時間(50単位)および選択科目570時間(28単位)以上 取得し、合計1740時間(78単位)以上取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 1年次は必須660時間、選択科目270時間以上履修すること。 2年次は必須510時間、選択科目300時間以上履修すること。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。